

ところざわの文化財



ミヤコタナゴ

今回は、市が保護事業を行っている、国の天然記念物ミヤコタナゴを紹介しします。

ミヤコタナゴは、コイ科に属する日本特産の淡水魚です。明治42年(1909)に東京(都・ミヤコ)で発見されたため、ミヤコタナゴと命名されました。体長はオスで約5cm、メスで約4cm、産卵期の4月から6月ごろになると、オスは婚姻色と呼ばれる紫色や淡赤色となり、メスは産卵管が尻びれの前から伸びてきます。

かつては関東平野の湧き水のある池、水田を流れる小川や用水路などに生息していました。しかし、高度成長期に都市化が各地で急速に進むと河川の汚染などで環境が変化し、産卵の際に必要な二枚貝(マツカサガイやドブガイ)が激減するなどして、ミヤコタナゴは絶滅の危機に瀕してしまいました。そこで昭和49年(1974)、淡水魚としては初めて国の天然記念物となり、その保護が図られることとなりました。

市内では、柳瀬川や狭山丘陵を水源とする水田地帯に生息していましたが、昭和50年ごろには絶滅したとされていました。しかし昭和53年(1978)に柳瀬川の最上流部で発見されたことを機に、保存会が結成され実験池で自然増殖が始まりました。さらに、平成8年(1996)からは市が人工増殖を開始し、市立埋蔵文化財調査センター内で保護対策を図ってきました。その結果、平成18年3月には個体数が約4,000尾にまで増えました。また平成14年(2002)からは、環境教育の一環として市内各小学校でも飼育が行われるようになり、希少な生物がより身近に感じられるようになりました。

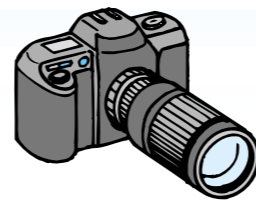
将来は、川や池で自由に泳ぎまわるミヤコタナゴが見られることを目指し、現在さまざまな取り組みが行われています。



▲残る札に集中し、真剣に挑んだ「第11回彩の国21世紀郷土かるた所沢大会」(撮影/市民カメラマン・松崎 満) 1月20日(日)/市民武道館



▲大勢の武道家の視線をあびて、的を射る「第12回武道祭」(撮影/市民カメラマン・中村 仁) 2月4日(日)/市民武道館



街の写真館



▲鬼は外、福は内の掛け声で行われる豆まき。一年の無病息災を願って多くの人が集まった「節分祭」(撮影/市民カメラマン・池田敏明) 2月3日(土)/所沢神明社

みんなのなごみひろ場

一口メモ 防犯



～空き巣による被害が多発しています～

市内では、今年に入ってから空き巣による被害が多発しています。発生場所は、西武線沿線が多く、1日で続けて8件発生した日もあります。侵入の方法は、ペランダなどのガラスを破壊して侵入する手口が多く、特にガスバーナーなどでガラスを焼いて破壊する方法が多発しています。また、被害現場付近では、逃走するスーツ姿の男たちが目撃されています。不審な人を見かけたときは、110番通報をお願いします。

★★被害にあわないために★★

- ◆わずかな時間の外出でも必ずカギをかけましょう
- ◆補助錠の取り付けや、窓ガラスには防犯フィルムを貼り付けましょう
- ◆ピッキングで開けられにくいカギに交換しましょう
- ◆長期間外出するときは、近所に声をかけて出かけましょう

問い合わせ 防犯対策室(☎2998-9090)・FAX2996-0015)

はつらつと 野老 子

向上心と達成感が走るエネルギー

熊本 道夫さん(中新井在住)



いつまでもいきがいをもち、健康で元気に過ごしたいという願いは、だれもが持っています。今回ご登場いただく熊本さんは、昨年12月のホノルルマラソン(75～79歳の部門)で見事1位(記録3時間40分49秒)に輝いたアスリートです。

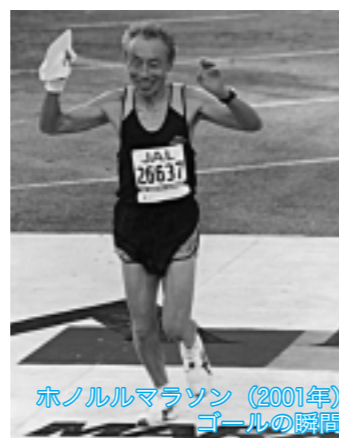
登山を趣味にしている熊本さんは日本山岳会にも所属しており、日本国内の3,000m級の山はすべて登頂し、今では世界の山に挑むほどの実力です。昨年9月、欧州最高峰『エブルブルー5,642m』の登頂に成功し、南米『アコンカグア6,959m』、アフリカ『キリマンジャロ5,895m』、豪州『コジウスコ2,228m』と、4大陸の最高峰を踏破しました。「機会があれば残る3大陸の北米、南極、アジアにも挑戦したい」と大きな夢を語ってくれました。

そんな熊本さんに陸上競技を始めたきっかけを尋ねると、「山登りのトレーニングで陸上競技を始めたんです」と意外な答えが返ってきました。初マラソンがボストンマラソン

(1996年4月)で「きつかったがとても楽しく走れた」と当時を振り返ってくれました。

全日本マスターズ陸上競技選手権大会では、800mや1500mの中距離競技にも出場し、輝かしい成績を収めている熊本さん。5年前に入会した『所沢市西地区総合型地域スポーツクラブ(WASEDA Club 2000)』の陸上競技サークルに所属してからは、指導者と一緒に考えた練習計画をこなして、フルマラソンに挑みました。その結果、一昨年74歳のとき、フルマラソンで自己ベストを更新。「練習は不可能を可能にすることを実感した」と満面の笑みを浮かべ、楽しく練習に取り組めたことを、指導者に感謝していました。

「所沢の環境はランナー天国です」とお気に入りの地元でトレーニングを積み、『一秒を争い、一生を楽しむ』をモットーとする熊本さんは、「今年は北米のマッキンリー登頂とマラソン年代別ランキング1位を目指したい」と次の目標を話してくれました。自分の可能性を膨らませ、前向きな向上心を失わず、いつも明るくチャレンジを続ける熊本さんの今後の成績には目が離せません。



ホノルルマラソン(2001年) 1位の瞬間

「今年もたくさんがんばりました。1本ご賞味ください。もう十数年前から、1月中旬大寒の入りごろに、たくさん漬物が仕上がります。期待と不安の中、重石を取り、ふたを開け、ぬかの香りや感触などを確かめながら取り出します。毎年8月のお盆のころに、秋つまずき」といふ大根の種をまき、所沢にも2、3回霜が降りた12月始めに大根を抜きます。10日ほど干して、米ぬか、唐辛子、塩だけで漬けて込み、昔ながらの秋田の農村の味、おふくろの味です。

毎年のお出来具合に不安を感じながらもこのたくあんは多くのファンができて、その時期になると、電話をいたたくほどに味になりました。2月中旬に賞味いただければ幸いです。今では、毎日のように知人に配っています。

あま酒も寒中に2、3回は作ります。もち米でおかゆを作り、米こうじを入れて2日ほど保温すると、香りのよいあま酒になります。私の春の楽しみです。

たぐあえのあま酒

中富・香澤 勝美

フキントウを探して

こぶし町・結城 智

雪解け：せせらぎ：丸木橋：「北国の春」の節です。私の育った所も、冬期間は野原も田も畑も白い世界でした。日差しも強くなり雪が解け始めると、真っ先に姿を現すのが用水の小川であり、黒々とした土と草の緑は子どもながらに春の喜びを感じたものです。

20年ほど前から友達を誘い、南会津に野原探りの旅を続けています。所沢で満開の桜も手都宮では蕾。川治では梅がちらほら、県境の山王峠を越すと白濁りの早春そのものです。

お目当てのフキントウをはじめ、アサツキ、セリ、カンゾウ、ヨモギ……と盛りだくさんのごほうびは、これも旬の新緑さにあふれており春を満喫します。

早春告知

下安松・川北 肇

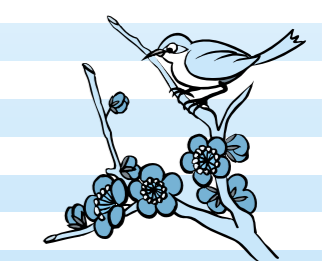
早春、さしも厚かった雪が薄くなり、ある日ホコッと穴があき、溜った黒い土が湯気をたて、若い緑が微笑む。6か月の雪から開放され、子どもは歌を歌って跳ね回る。

内地では、さすがにあの爆発的な喜びは感じない。静かに眠っていた雑木林が変わり始める。梢を渡っていく空と雲。光を帯び始めた蕾の先。

耳を澄ますと林全体から生命の歌が聞こえる。求める人にだけ聞こえる。武蔵野の早春告知である。

誰でてもイイ

テーマ 春を感じる時



所沢市ボランティア連絡協議会

～所沢市のボランティアの輪を広げる活動～

所沢市ボランティア連絡協議会(以下V連)は、ボランティアグループがそれぞれの活動分野から一歩前進して、お互いに連携・協力・理解し合うための協議会です。それぞれのグループが自主活動を計画・実行していく中で、お互いに連携をとり、協力し合ってより大きな力をはぐくみ、所沢の福祉の輪を広げていけたらと願う人たちの熱意によって、平成4年に生まれました。現在、多方面で活動する44のグループが登録しています。

主な活動は、ボランティアグループの情報交換懇話会の開催(随時)、広報誌の発行などがあります。また、毎週水・木曜日(午前10時～午後3時)に旧市庁舎1階でボランティアによる「ボランティア活動に関する相談窓口」を開設しています。また、毎年1回、市役所で「ボランティアのつどい」を開催しています。ボランティアグループの活動を紹介するパネル展示や講演会、手話や車いすなどの体験会など盛りだくさんのプログラムで、多くの市民の方が参加しています。所沢のボランティアの輪をさらに広げていくための活動を行っています。皆さんも参加してみませんか?

ぜひ一度、V連のホームページ (<http://cat.zero.ad.jp/zan86796/>) をご覧ください。



ボランティア相談窓口の様子

上記のグループ、またその他ボランティア活動に関心のある方は、お問い合わせください。お問い合わせ 所沢市社会福祉協議会(☎2925-0041・FAX2925-0040)

次回のテーマは「おふくろの味」です

▶「誰でもイッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶次回のテーマは「おふくろの味」▶締め切りは3月7日(必着)▶住所・氏名・年齢・電話番号を明記▶送り先：〒359-8501・並木1-1-1 所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係▶Eメール(アドレスkouhougenkou@city.tokorozawa.saitama.jp)も可。